

EBSD 法（結晶方位解析） 技術講演

下記の通り EBSD 法（結晶方位解析）についての技術講演を開催いたします。
教職員・学生のみなさまには多数ご参加くださるようご案内申し上げます。

記

日 時：平成 30 年 10 月 2 日（火）15 時 30 分～16 時 30 分

場 所：北海道大学工学部材料化学棟 2 階大講義室（MC208）

講 師：株式会社 TSL ソリューションズ

代表取締役 鈴木 清一 氏

題 目：EBSD 法の現状と OIM-Analysis8 の新機能

EBSD 法は元々は、材料のミクロ組織や集合組織の解析から始まった技法である。さらに結晶方位に基づいて材料組織は材料の特性を決める基本的な要素であることからその応用が大きく広がった。ミクロ組織の観察では、3 次元観察、In-Situ 観察にも広がっている。また高分解能化の手段として透過 EBSD 法も開発されている。一方では高分解能パターンを用いた弾性歪解析も行われている。また EDS との同時測定により、より精度の高い相分離/相同定が実現している。このように現在の EBSD 法は様々な分野で、様々な使い方がされている。これらそれぞれの使用分野での現状の到達点や問題点、そして今後の課題について概説する。後半は OIM-A8 で新たに導入・改善された NPAR 法や PRIAS 法、そして方位差解析等を取り上げ、それらの機能とその応用について紹介する。

主 催：北海道大学 ナノテクノロジー連携研究推進室
ナノ・マイクロマテリアル分析研究室
超高压電子顕微鏡室

共 催：北海道大学 先端研究基盤共用促進事業 MANBOU・MASAOU

連絡先：工学研究院共同利用施設 ナノ・マイクロマテリアル分析研究室
E-mail: info-nma@eng.hokudai.ac.jp TEL 011-706-6363

以 上